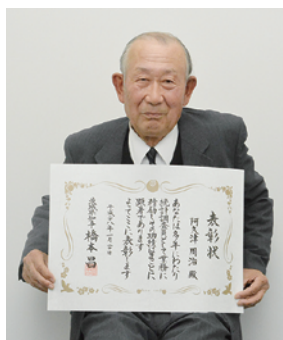


# まちのわだい

MY TOWN NEWS

## 1 21 茨城県統計功労者表彰

平成27年度茨城県統計功労者表彰式が茨城県庁で行われ、長年にわたり各種統計調査の発展に尽力された3名の統計調査員が表彰されました。



▲県知事表彰  
阿久津 周治 さん  
(塩子)



▲経済産業大臣表彰  
川井 昭 さん(下古内)



県統計協会総裁表彰  
卜部 正巳 さん(小勝)

## 2 3 道の駅かつらで ドラマのロケが行われました

道の駅かつらで、1月からTBSで放送中のドラマ『わたしを離さないで』の撮影が、行われました。

今回の撮影では、主演の綾瀬はるかさん、茨城県出身の俳優三浦春馬さんなど、ドラマの主要キャストがそろって来町し、撮影が行われました。

当日は、厳しい冷え込みでしたが、俳優とスタッフの皆さんは何度も何度もテストと撮影を繰り返し、約5時間かけて駐車場でシーンの撮影されました。

写真は、時代設定に合う年式の車(撮影協力のため町の公用車を提供)を使用し、撮影が行われている様子です。

なお、城里町で収録されたシーンは、第5話(2月12日放送分)で公開されました。



## 1 18 シルバーリハビリ体操指導士会 設立10周年記念講演

常北保健福祉センターにおいて、城里町シルバーリハビリ体操指導士会設立10周年記念講演会が開催されました。

講演では、シルバーリハビリ体操の考案者で、茨城県立健康プラザ管理者の大田仁史先生から、「異次元の高齢社会を乗り切ろう!」をテーマに、高齢化の現状と、地域での活動におけるシルバーリハビリ体操指導士の“ソーシャルキャピタル(目的を共有するボランティア)”としての役割と“体操指導士の7つの心得”などについてお話をいただきました。

また、講演後には、総勢60名の参加者によるシルバーリハビリ体操の実技と町長を交えた懇談会が行われ、会員同士も親交を深めていました。

大田仁史先生による講演▶



## 2 2 県埋蔵文化財センターの名称が 「いせきびあ茨城」に決定

旧北方小学校を利用し、整備が進められている茨城県埋蔵文化財センターの愛称が「いせきびあ茨城」に決定しました。

昨年10月から11月にかけて愛称を一般公募したところ、全国から351点の応募がありました。

茨城県と城里町で組織する選定委員会において選考を重ねた結果、愛知県在住の小寺光雄さんの作品が採用されました。

小寺さんは、茨城県の埋蔵文化財や古代遺跡の理想郷をイメージしてこの愛称を作られたそうです。決定の知らせを受けた小寺さんからは、「センターが皆様に愛され、親しまれることを願っております」と喜びの言葉が寄せられました。

同センターは、今年7月に一般公開される予定です。採用された愛称は、同施設の看板や広報等で広く使われます。



## 2 16 県の教育事業を推進した 3校に県教育長から感謝状

石塚小学校、桂小学校、沢山小学校の3校に対して、茨城県教育委員会教育長から感謝状が贈られました。

石塚小学校と沢山小学校は小学校教科担任制モデル事業(理科)のモデル校として、桂小学校は平成27年度学力向上推進プロジェクト事業に係る授業力ブラッシュアップ研修(算数)の重点校として、それぞれ様々な取り組みを行いました。



▲石塚小学校(谷津照夫校長)



▲桂小学校(古市敏夫校長)



▲沢山小学校(池田晃一校長)

## SPORTS

### 12 23 第11回かすみがうら市長杯 ミニバス大会 会場：かすみがうら市立千代田中学校

県内8チームが参加して行われた上記大会において、常北ミニバススポーツ少年団が第3位の成績を収めました。



## 2 8 元気になってきてね ～桂小学校でサケの稚魚放流会～

桂小学校でサケの稚魚放流会が行われました。同校では、那珂川漁業協同組合の協力を得て、サケの稚魚を卵から育て、放流する事業を長年実施しています。

5年生の飼育グループ“チーム鮭”が約2か月間、学校内の水槽で稚魚の飼育を担当。放流前に行われた集会では、サケの卵がふ化し、成長する様子を全校児童の前で発表しました。

近くの川に場所を移して行われた放流会では、学校で育てた稚魚のほか、水槽等を使って各自が育てた稚魚を持参し、放流しました。児童は、川を泳いでいく様子を見守りながら「元気になってきてね」と声をかけ、稚魚の成長を願いました。



## 2 18 四輪駆動車愛好会が町に寄付

常陸大宮市を拠点として活動している四輪駆動車愛好会4×4 山嵐(三村猛代表)とOFF-ROAD TEAM OUT-RAGE(廣木陽庸代表)から、10万円が町に寄付されました。

昨年9月に発生した関東・東北豪雨の災害ボランティアとして上記の団体が被災地で活動した際、清掃作業に使う水を町が無償で提供したことから、そのお礼にと、チャリティーオークションでの収益の一部が寄付されました。

今回いただいた寄付金は、町の防災のために使わせていただく予定です。



▲OFF-ROADTEAM OUT-RAGE  
代表 廣木陽庸さん(写真左)